

会 議 録

1 会議名	第2回 南砺市社会教育委員会
2 議 題	・ 報告事項 (1) 令和6年度南砺市教育委員会表彰の受賞者について (2) 令和6年度全国社会教育委員連合表彰の受賞者について (3) 令和7年南砺市二十歳の集いの出席状況について (4) 福光里山周辺施設の利用休止について (5) 第3次南砺市教育振興基本計画の策定について (6) 第2次南砺市スポーツ推進計画後期計画の策定について (7) 第5次南砺市子ども読書活動推進計画の策定について ・ 協議事項 (1) 令和7年度南砺市社会教育推進大会の実施について ・ その他 (1) 当面の主な行事予定について
3 開催日時	令和7年2月14日（金）午後3時15分から午後4時15分
4 開催場所	南砺市役所本館 3階 302会議室
5 会議出席者	南砺市社会教育委員 出席8人/全14人 委 員：武田和一(委員長)、岩井透(副委員長)、干場健、渡邊一美、高田篤志、野村由佳里、前田悟志、秀永ゆかり 事務局：教育長、教育委員会教育部長、生涯学習スポーツ課長、中央図書館長、教育総務課長、こども課長、文化・世界遺産課長、生涯学習スポーツ課生涯学習係長、生涯学習スポーツ課生涯学習係主事
6 欠席者	委員：中川昇、嶋田充宏、唐嶋田鶴子、橋本正俊、今川浩美、越山穂高
7 傍聴者	無し
8 議事内容	・ 開会 山下生涯学習スポーツ課長 ・ 開会あいさつ 武田委員長 先週は毎日雪が大変だったが、本日は非常に足元の良い日になった。第2回目の令和6年度社会教育委員会を開きましたところ、お集まりいただきありがとうございます。色々と学校問題や様々な問題で大変だと思うが、また社会教育の立場から見た意見を皆様方からいただきたい。今日はよろしく願いいたします。 ・ 進行 武田委員長 ・ 報告事項 (1) 令和6年度南砺市教育委員会表彰の受賞者について 事務局：(資料1に沿って説明)

(2) 令和6年度全国社会教育委員連合表彰の受賞者について

事務局：(資料2に沿って説明)

(3) 令和7年南砺市二十歳の集いの出席状況について

事務局：(資料3に沿って説明)

(4) 福光里山周辺施設の利用休止について

事務局：(資料4に沿って説明)

(5) 第3次南砺市教育振興基本計画の策定について

事務局：(資料5に沿って説明)

(6) 第2次南砺市スポーツ推進計画後期計画の策定について

事務局：(資料6に沿って説明)

(7) 第5次南砺市子ども読書活動推進計画の策定について

事務局：(資料7に沿って説明)

●質疑応答

(6) 第2次南砺市スポーツ推進計画後期計画の策定について

委員：計画策定までのスケジュールの最後は、令和6年ではなく令和7年2月20日でよろしいか。

事務局：失礼いたしました。仰る通りで、来週の2月20日のことを指している。

委員：資料14ページの後期計画の新旧比較表の中で、少し引っかかったところがある。健やかな子供の育成と学校体育・スポーツの充実のところ、**「デジタル化を活用した取組にも目を向け」**と赤字になっている。**「デジタル化を活用した取組にも目を向け」**というのは、具体的にどのようなことを言っているのか。

事務局：デジタル化という言葉を使っている内容については、子どもたちが自分でこれまでのデータを管理して、できるようになったことやどれだけ伸びたか等を確認することや、映像で自分の動きを見るなど、そういったところにも目を向けて取り組んでいくということで、審議会からもご意見をいただき入れ込んだ。

委員：資料15ページ、16ページの指標に関するところで、変えてほしいという意味ではないが、他市も同じような計画を掲げている中で、本市だけの特徴的な指標や他市と変わった指標といった情報はるか。

事務局：指標の項目については他市とそれほど変わりはない。それぞれの目標値等については、他市との比較というよりも過去との比較で設定している。他市との比較となると、そこまでの分析はできていない。

事務局：今回は後期計画なので、項目を変えずに数字だけを見直した形だが、5年後になったときに同じ指標でいいのか、他市の状況も考えてもう一度見直すということも考えてみる。

・協議事項

(1) 令和7年度南砺市社会教育推進大会の実施について

事務局：(資料8に沿って説明)

●質疑応答

副委員長：今年度は、全学校出演したのか。

事務局：全学校出演した。

副委員長：時間は何分間ほどか。

事務局：ステージでは2分ほどで説明した後、それぞれの部屋で発表をした。今年度は20周年記念ということで全校出演したが、来年度からは、ステージで10分程度にし、小・中1校ずつ、幼・保2園とすれば4つで40分程度かかると思う。それを順番に回していこうと考えている。

委員：子どもをなるべく中心に据えたい。子どもがいい発表ができた、良かったからまた続けたいとなる。来賓の挨拶等は、書いたものを読み上げるのではなく、子どもの発表をちゃんと聞き、その感想と自分の決意を織り込んで話すようにしてほしい。

事務局：社会教育委員からそういった要望があったと強く願います。発表したものに感想をもらえると子どもたちも嬉しいだろうと思う。

委員長：ステージ発表だけになるのか。

事務局：ステージ発表のみで、部屋での発表は行わない。部屋では、陶芸等の展示は行う。

委員長：部屋での発表はなくても、取り組んでいることをポスター形式で各学校展示する等はしないのか。

事務局：検討させていただきたい。校長会でも提案してみる。11月であれば、保育園も学習発表会等を行っており、その延長で発表できる。2月になると卒園、入園が近く対応できないため、毎年11月に開催したい。

委員：その他に図書館の取組紹介とあるが、先程の図書館協議会での

話で、ボードゲームを取り入れて集客に力を入れるぞと言っておられたので、取組の紹介をする際は工夫するべき。文章だとスルーされるだろうし、喋りすぎると聞き手が疲れる。せっかく親子で来てくれる機会になるのだから、ボードゲームをするからみんな図書館に来てねというアピールを上手に行ってほしい。記念講演で有名人が来れば集客も多く、その後に図書館の紹介ができればいいが、自分の子どもの発表が終わり次第さっと帰られてしまうと図書館のことをアピール出来ずじまいになってしまう。せっかくボードゲームで盛り上がっているのに、ここだけで盛り上がるのではなく、皆に周知させなければならない。紹介の時間配分や内容、長いと嫌気がさすし短いと聞いて終わってしまうので、充分検討していただきたい。

事務局：当日は、午前中に絵本ライブを行い、終わり次第ワークショップを実施する。ワークショップの中で、アピールができないか検討していく。

委員：1日拘束されるのは嫌がる人が多いと思う。

事務局：午前中は小さなお子さんが大多数だと想定している。その後は、人が回るようにしていきたい。部屋を借りているので、ボードゲームの体験等を組み入れていきたい。

委員：ガールスカウトは、前年度と今年度、スポーツ少年団と一緒にPRミーティングに参加させていただいている。おかげさまで、児童数が少なくなっている中でも何名か入団に繋がっており効果を実感している。出来れば、社会教育大会の際に、活動を発表するコーナーを設けていただければありがたい。

事務局：ぜひお願いしたい。

委員：発表だけでなく、ワークショップ形式や小さなクラフト体験をすることも考えられるので、ぜひ設けていただければと思う。

事務局：参加していただけると盛り上がってありがたい。

委員長：大会の名称を「なんと生涯学習フェス」とするのがよいか、従来通りの社会教育推進大会のような固いものがよいのか。子ども主体の大会なのであれば、分かりやすい名前にするべき。

事務局：社会教育と学校教育があり、合わせて生涯学習という概念だということをはっきりしてきたので、少なくとも「社会教育推進大会」だけにすると学校教育がはじかれる。「生涯学習」という名前がいいのか、「教育」という名前がいいのか悩ましいところだが、重点目標で学びという言葉キーワードにしており、学習者主体、市民主体でというところで、「生涯学習フェス」が柔らかくてよいのではないかというのが提案である。あまり固い名称よりも、小さ

な子から老人まで来られるような柔らかい名称にしたらどうかと
思っている。

委員：一貫性を持たすのであれば、小規模多機能自治で、交流センター
に生涯学習というポジションがあり、父兄もお子さんもお婦人の
方たちも統一されて動いている。大会と連動させるのであれば、
「なんと生涯学習」でいいと思う。

事務局：ありがとうございます。

委員：「フェス」がよいか、それとも「フェスティバル」がよいか。

事務局：軽い感じと短くしたいといったことから「フェス」で案を出して
いる。

委員長：最近は短めが流行っていると思う。概ねの意見でご承諾いただき
たい。「令和7年度なんと生涯学習フェス」という名前でよいか、
拍手でもってご承認いただきたい。

一同拍手

委員長：ありがとうございます。

・その他

(1) 当面の主な行事予定について

事務局：(資料9に沿って説明)

・閉会のあいさつ

岩井副委員長

武田会長には、ここまで市を代表して社会教育にご尽力いただき、全国の社会教育委員表彰を受けられ、本
当におめでとうございます。

社会教育とは何をすればいいのか、社会教育委員は何
をしているのか等の言葉をいただくこともあるが、こ
れだけ間口が広いと明確な絞ったことが出せない。自
分の力で社会を変えようと気張らず、まず自分が所属
する地域や団体の、そこで拾い上げた色々な情報や意
見、要望をこの場を通じてまず出していただければよ
いのではないかと思う。ここでの情報交換がまた周囲
に流れていくことで少しずつ変わっていくのかなと思
う。今後とも社会教育をよろしく願います。
ありがとうございました。

	・教育長あいさつ 松本教育長 2年間に渡り社会教育委員をしていただき、それぞれの立場からたくさんご意見をいただいた。これから新しい5ヵ年が始まるが、子どもたちにとって、家庭教育と学校教育と、それ以外に、社会の色々な人に出会ってそこで仲間と一緒に学んでいけるような、その3つがうまく機能するような南砺市になればいいなということで今進めているところである。今回いただいたご意見もまた参考にしながら今後も進めていきたい。2年間どうもありがとうございました。
--	--